



荒川中 だより

育目

目指す学校像:「あいさつ がまん めあてをもち 自分で考え あとしまつ」ができる生徒 ねば ŋ 強くやり 抜こう」

令 村 和 上 市 5 5 年 <u>\\</u> 年 度 荒 10 第 Ш 月 中 7 13 学 日 校 発

渡

辺

安

地 域 の 皆 様 方 か らお世 話に な

向とた 。暑 けに `秋つか 美のるつ し深べた いま落季 歌りと節 声をしが を感の過 校じよぎ 内まう にすに朝 。夕夕 か生暮冷 せ徒れえ てたも込 いち早む まばくよ 。合なう 唱りに `な 発 表一り 会雨ま

た平と切しるのど行品の育業先ご だ日いにた「発`いを魅館・月協二 。生表十ま考力を事 、力学 `て審徒で一しえを会業三を期 あく査のしのたた発場所年いの とでいれ員地た班。り信にな生た総 ごがての域。ご持すししどのだ合 多たい村へ来と続るたてか総い的田くる上の校に可介り生ら会てか る上の校に可企り生ら合てな 励こ市思さス能画へ かの 徒多的 みと荒いれクなの地がくな充習 ら感動ないとこれにな が川」たり社プ域「の学実の よ支を方 | 会レで地方習し時 く所熱々ンづゼと域々のた間 伝長心にをくンれのが時学は わ様には使りテた資来間習 ま O.V. つか聞 `いや」食源校にと地 てらい発工地シ材」さ `な域 めだきはて表夫域ョををれ荒っの `いかをヘン生生ま川て皆 7 う地たら凝の発かかし地い様 いしれ域だあら貢表しした域ま方 、。のすか でたしをきふし献会た 。い大まれてなを製そ体企

仕をたな店 事快。ど・二 `飲年 をくそ 行受れ二食生 うけぞ十店は と入れ四・九 きれのの福月 のて事事祉下 出い業業施旬 勤た所所設の 時だでに・三 刻きは職保日 ご業育間 多体園に 服り ・ 持ち とお小川 こ世学地 、に・の 11 仕ま荒な荒工 事し中り川場 内た生ま支・ 容。徒し所商

> 域げさ画もてらっなととま徒 貢でとし今いかたこな共しは事 にて後るわ表とりにた緊前 を地寄い、 こ」情だま 実域せま地とでかとし厳職の 践をるす域を荒ら実たし場中等 し大思。の実川、感。さ体にに て切い生事感中口し何や験も 欲にを徒業し生絆たよ責を安 し思地に所、徒だこり任通心 いう域はをあが結ともなしし 心学総訪り ^ばで働どて 願を習合問が地れしいに つ更や的さた域自よてつ仕職で に職なせくの然うおい事場い 育場学で思方と。金てのにた み体習いい々共私を考や通だ `験のたまににも得えりわい 将学時だし愛生生るるがせた 来習間くたさき徒こ貴いてお 。れるのと重やい陰 でこれるいこま、一つでと一方まやはな楽たで、 るつふを年まちり大機しだ

地なる計生れあき変会さき生等

願らて共やかさ前た連た々 いもいにかくいに。携だか秋 し地るこな見ま植協しきらの ま域この成守しえ力てま安交 すのと「長ったてし し全通 皆をゆをて。あて児たに安 様実ず願いつるい童。登全 の樹ったがいのかるではいったいのあるはいかったことができるはいかんだいがあるはいかんだいがあるはいかんだいがあるはいかんだいがある。 おあ木さ 世り」れ新次は更気いよ 話がにた校代の生なさう通 にた見そ舎を木保あつに学 なく守うが担い護いの り思らで建うに女さ日声の まいれす設生つ性つしを各 すまて°さ徒い会運でか地 。し生地れたての動もけで よた徒域たち教方を両見 °がの当をえは行小守近 しこ成皆時常て い学っ所 くれ長様 `にく玄ま校ての おかしと健温だ関しとい方